



株式会社
サンセツビ空間計画

Rebroワンポイントレッスン

作図CADとしての利用方法

2023.07.20

株式会社サンセツビ空間計画
木島 幹生

表題

図枠の設定とオブジェクトの編集方法について



Rebro

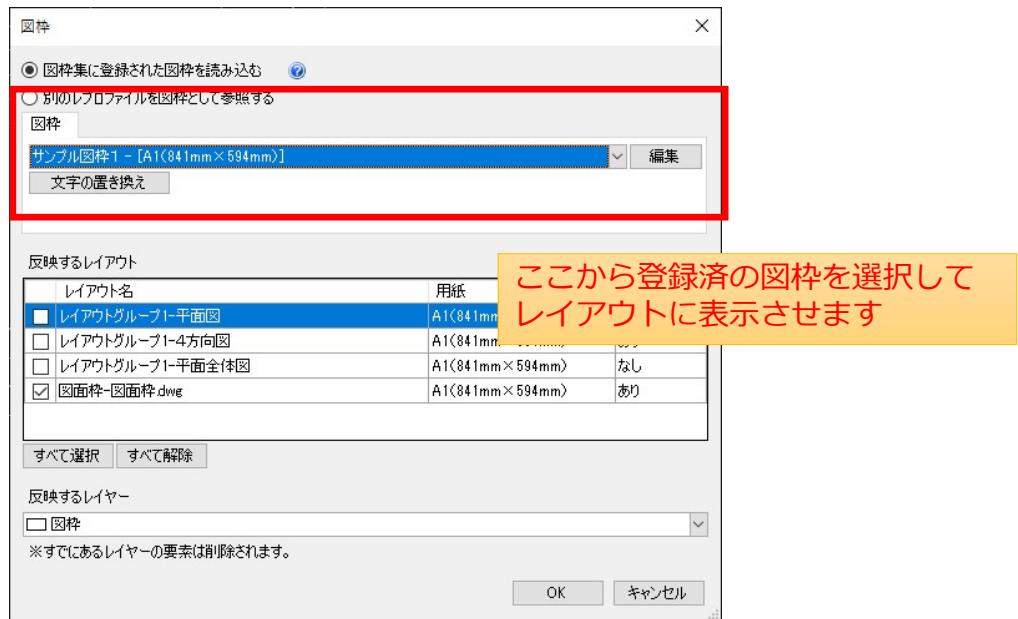
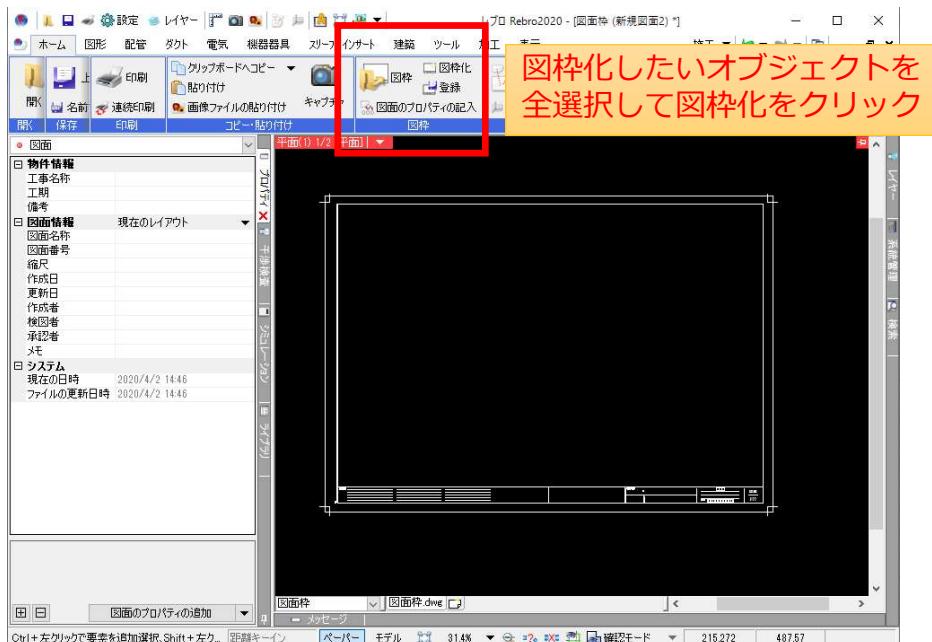
図枠化と登録

図枠の設定

STEP1
選択して【図枠化】

STEP2
ペーパーで編集 & 【登録】

STEP3
【図枠】からレイアウトに書き出し

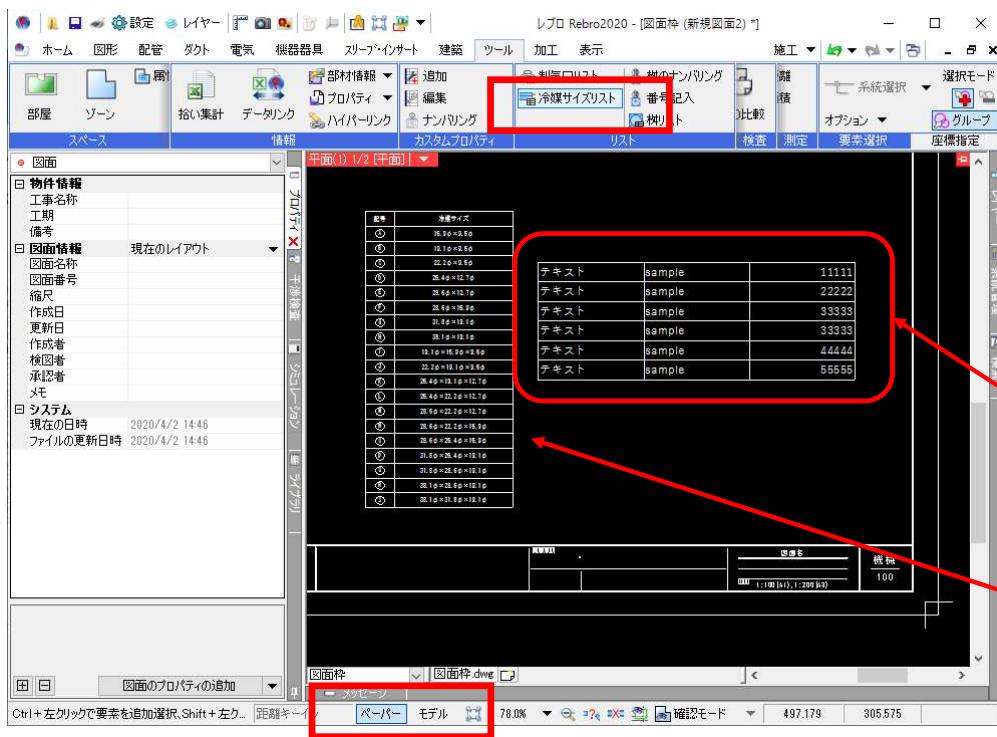


図枠化したものはペーパー側でのみ編集できます。登録すればどのレイアウトでも図枠の書き出しが可能になります。

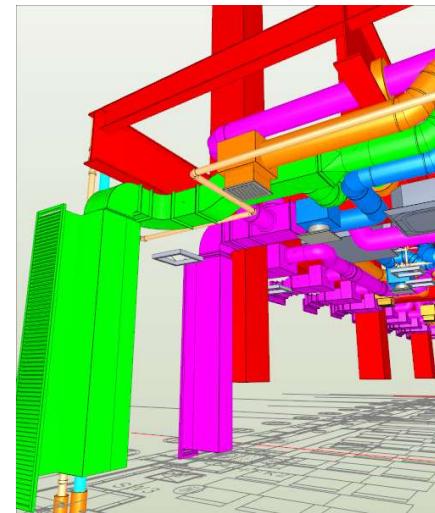
Rebro

ペーパーの編集

ペーパー側(モデル側も同様)に様々なオブジェクトを貼り付けることが可能



図枠の設定



エクセルはセルを選択＆コピーして貼り付けが可能です。

冷媒管リストから配管サイズ一覧

モデル側編集中はペーパー側の編集不可
ペーパー側編集中はモデル側の編集不可
※グレー反転表示されます

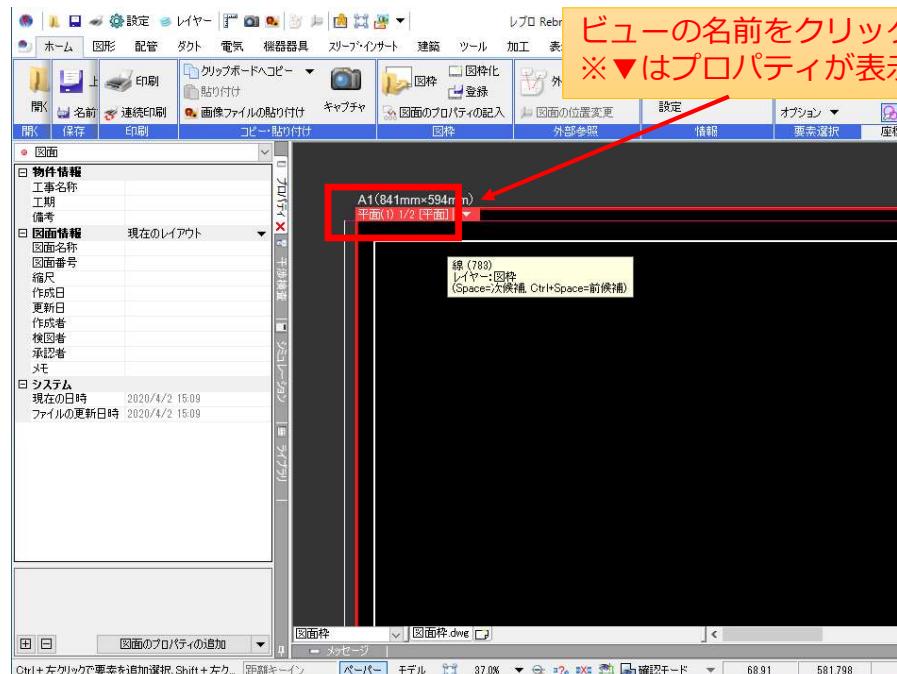


Rebro

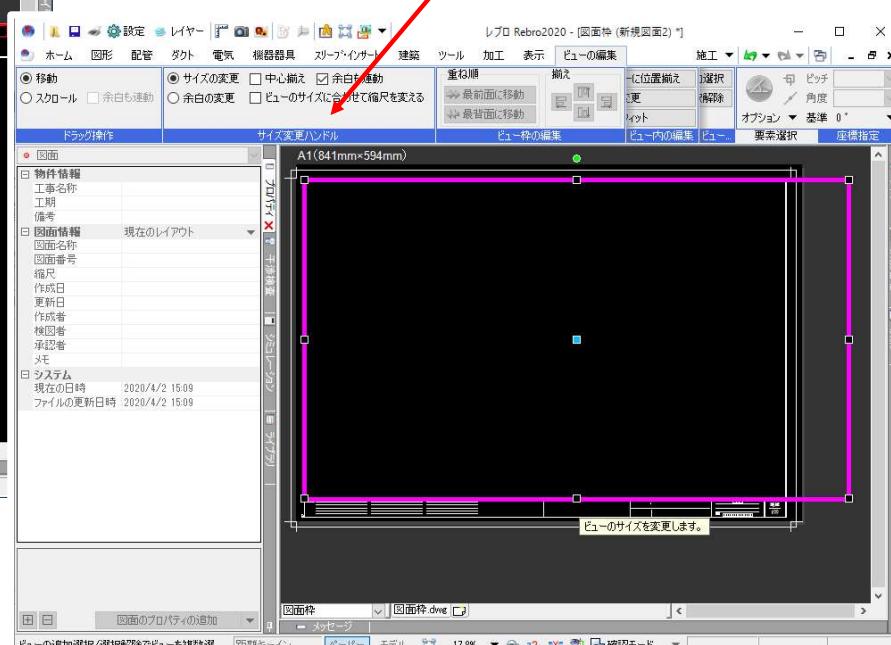
図枠内に表示位置を合わせる

図枠の設定

ビューの名前(下部赤枠)をクリックすると表示
サイズを範囲を変更できます。



ビューの名前をクリック
※▼はプロパティが表示されます



色がピンク枠に変更になり
各辺中央の黒■にカーソルを
合わせると範囲を変更できる



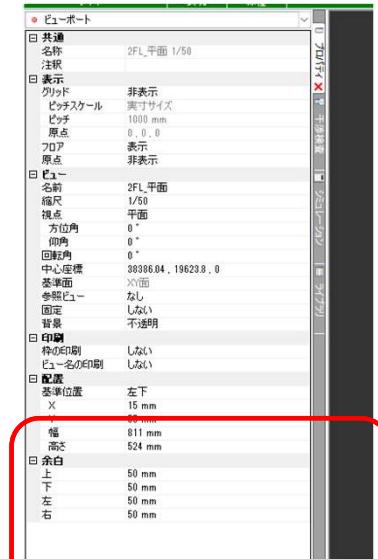
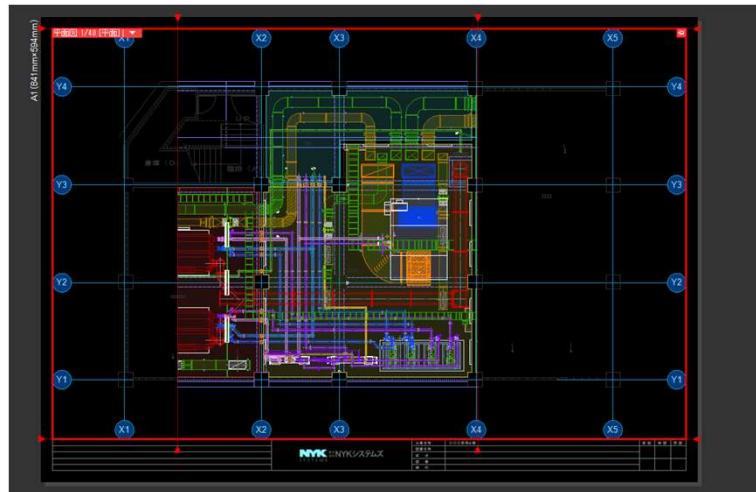
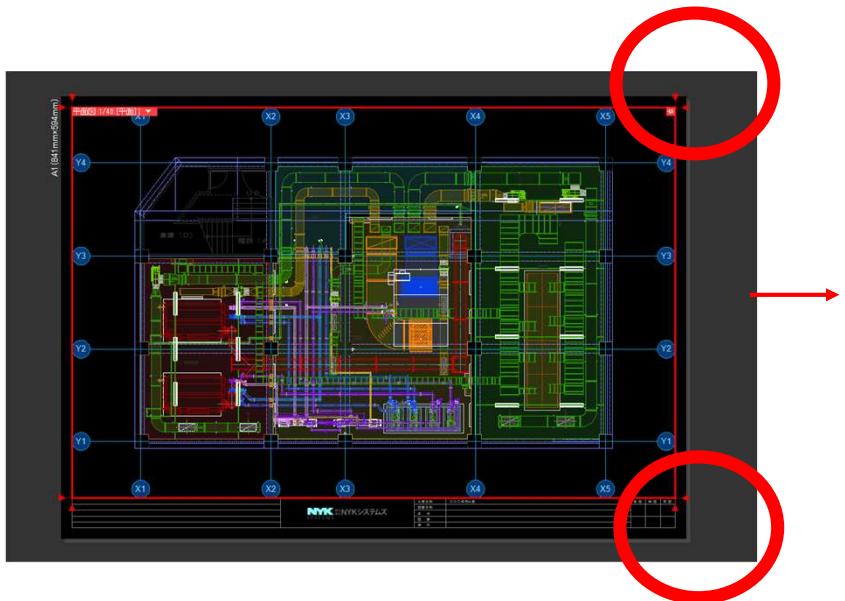
Rebro

図面に余白を作る

図枠の設定

ハンドルを操作して余白を作成できます。

ハンドルをクリック



ビューのプロパティからでも設定できます

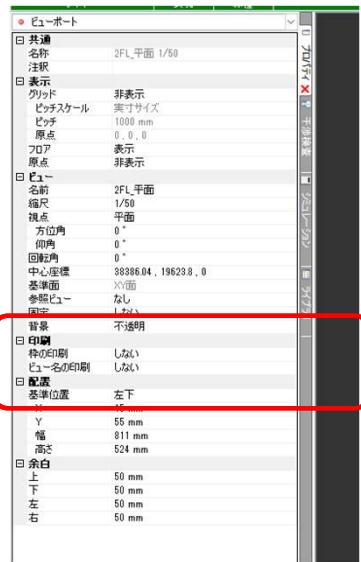
Rebro



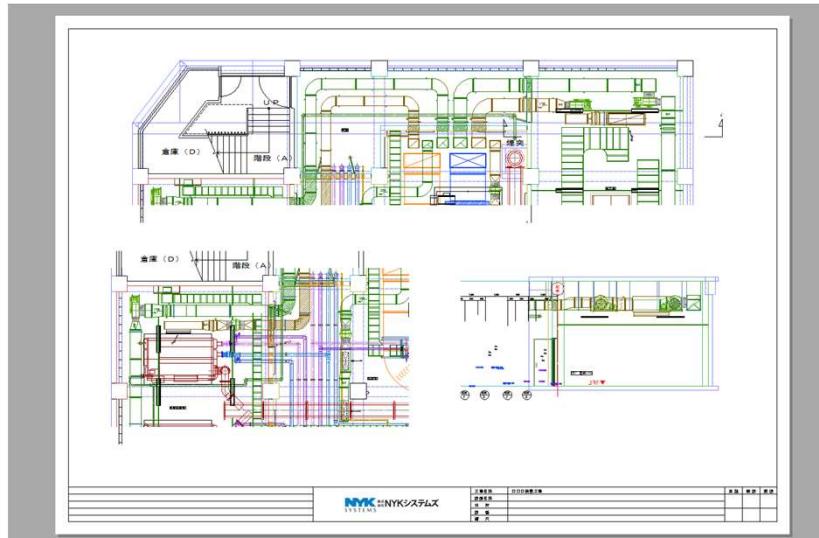
レイアウト枠を印刷する

図枠の設定

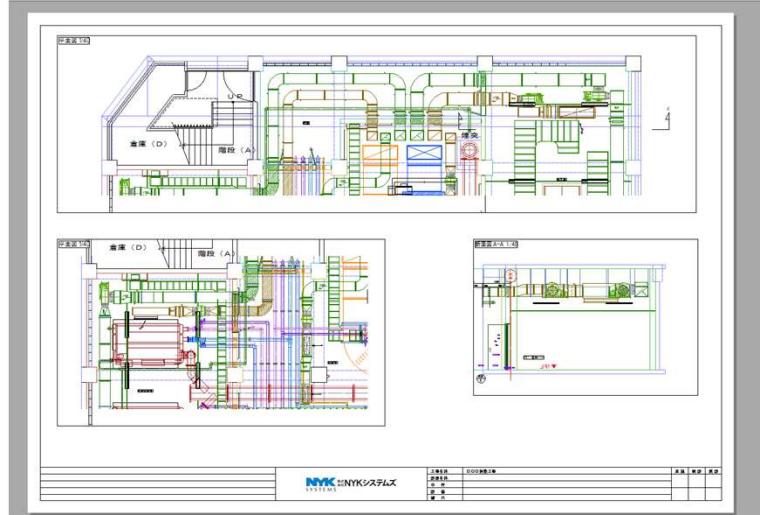
プロパティの枠の印刷を【する／しない】を設定します。



しない



する



ビューノードの印刷【する/しない】を設定できます。

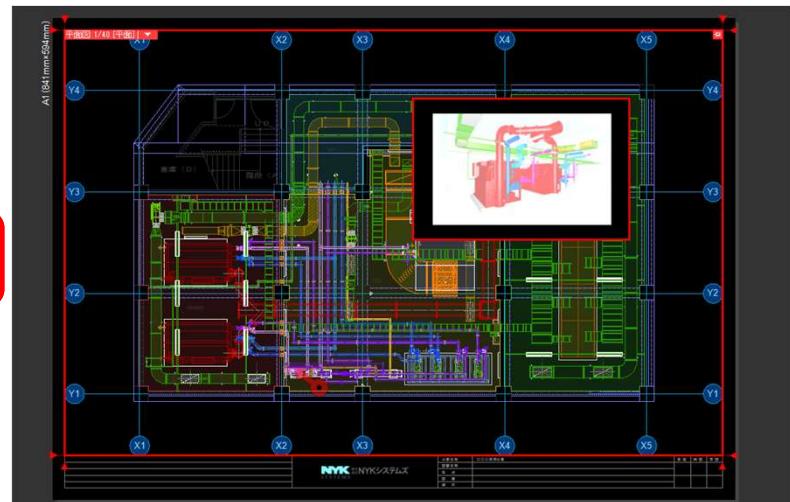
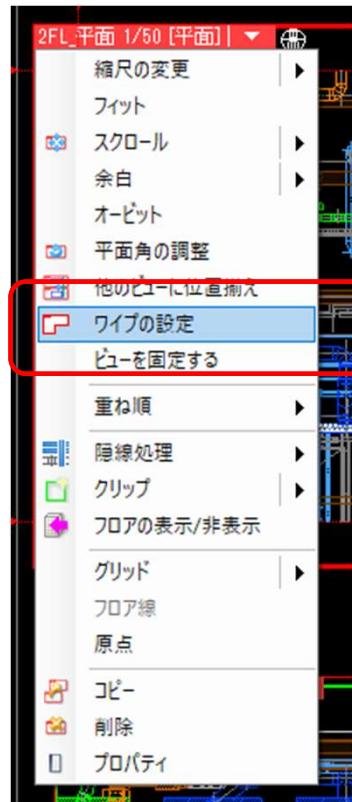


Rebro

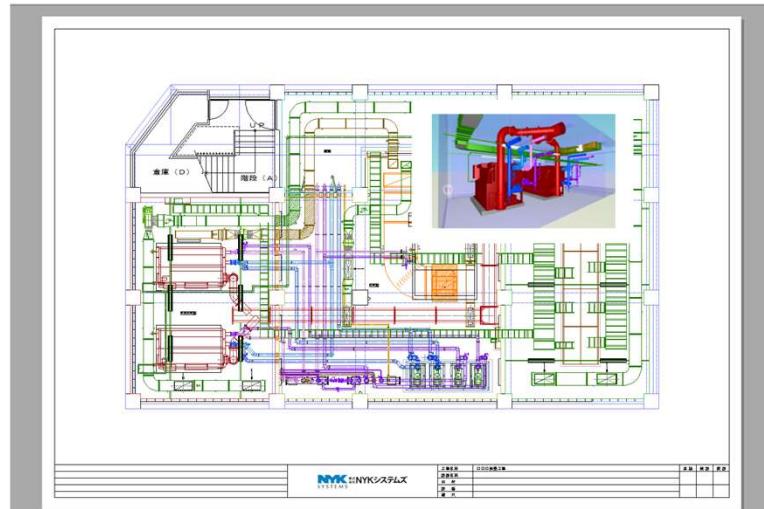
ビューにワイプを設定する

図枠の設定

ビューのプロパティから【ワイプの設定】を選択します



ワイプ位置を決めて
オブジェクトを貼り付ける



印刷プレビューで確認する

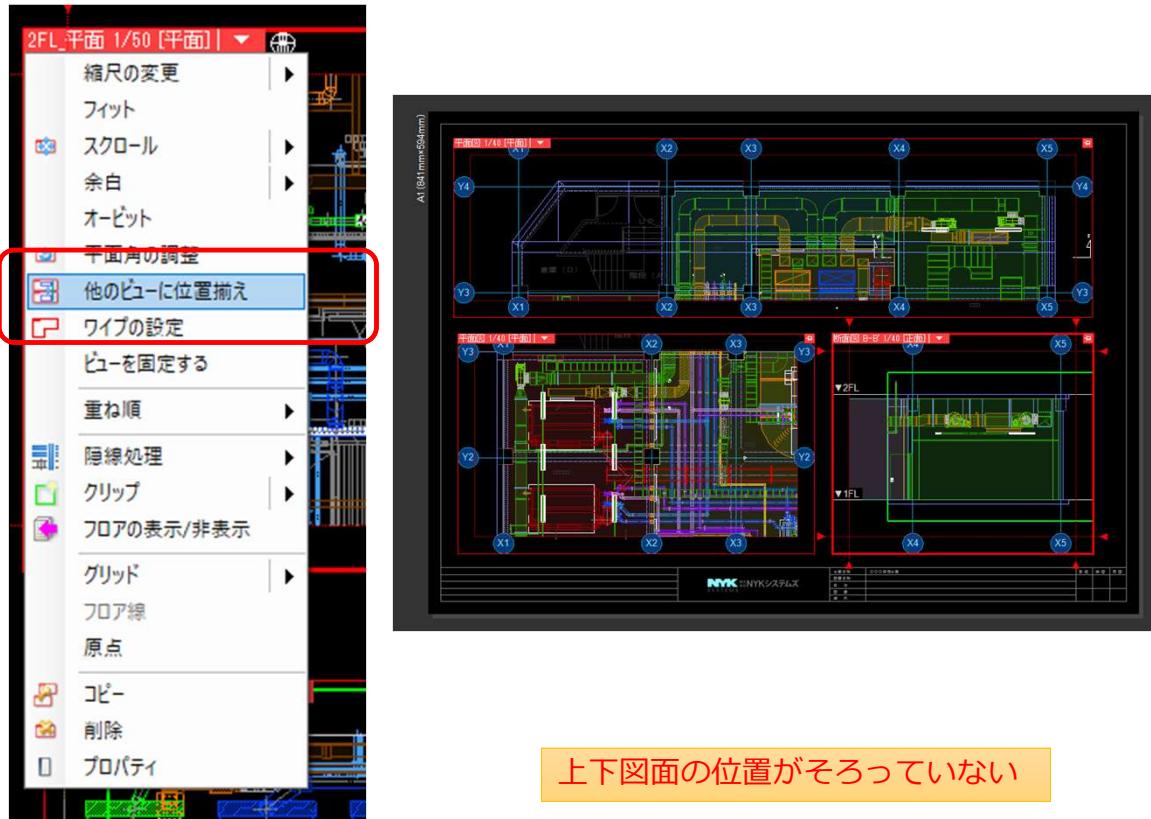


Rebro

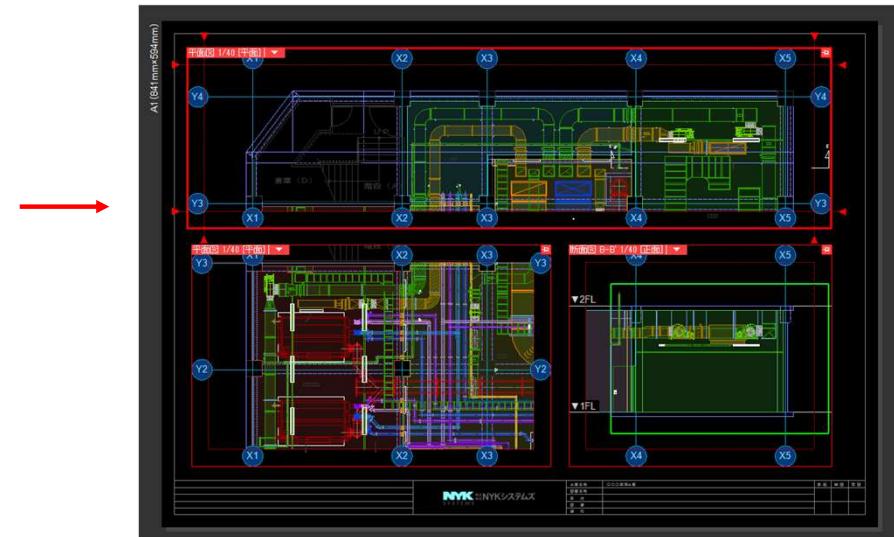
ビューの通り芯の位置をそろえる

図枠の設定

ビューのプロパティから【他のビューに位置揃え】を選択します。



上下図面の位置がそろっていない



上下図面の位置をそろえる

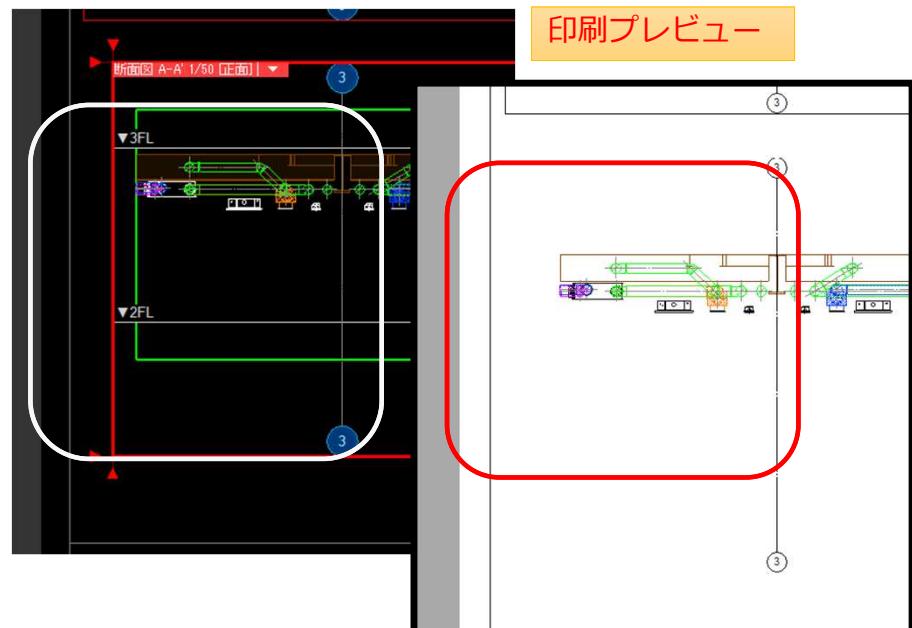


Rebro

フロアラインを表示＆印刷する

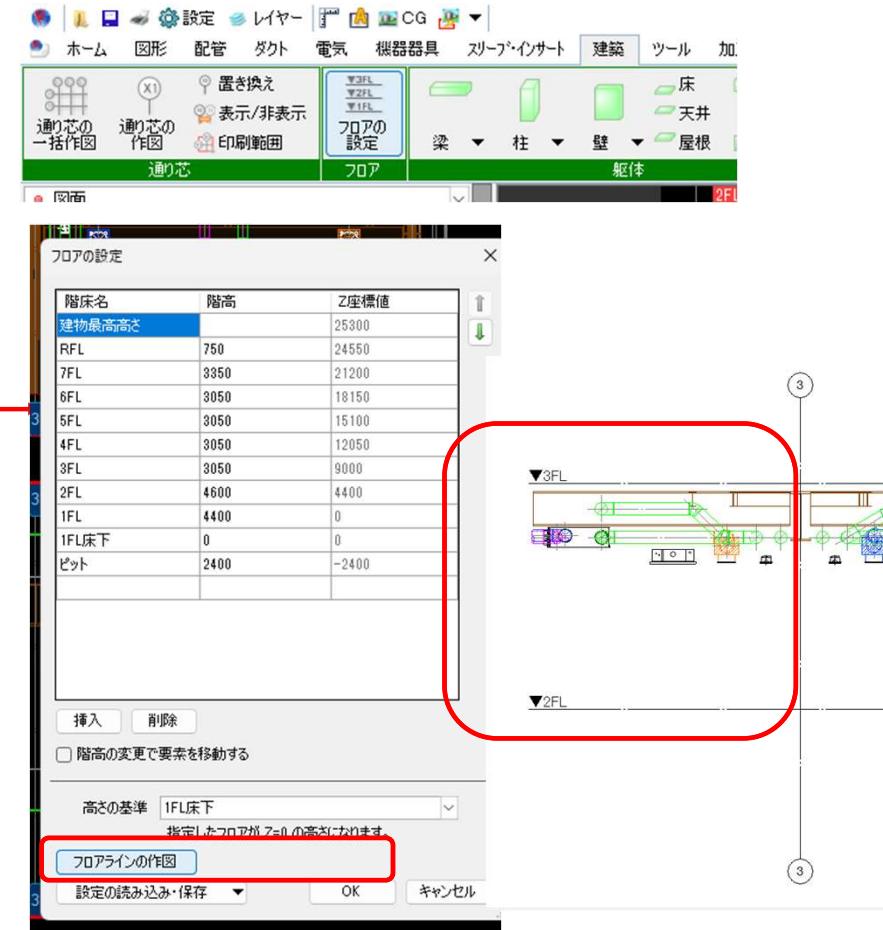
図枠の設定

フロアラインは一括で作図できます。



レイアウト画面で見える（▼2FL、▼3FL）は
そのままだと印刷されない

建築タブ-フロア設定-フロアラインの作図から一括表示できます



3Dのレイアウト空間で2Dオブジェクト移動させる①

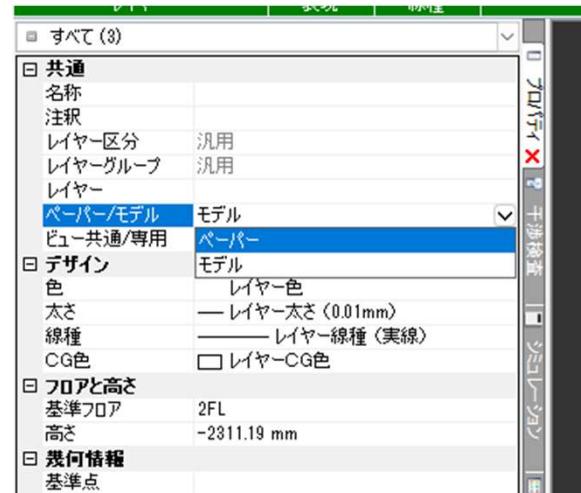
ペーパー空間の活用

オブジェクトをいったんペーパー化して移動→モデル化します。

編集したい文字を
ペーパー化→移動→モデル化



プロパティで【モデル・ペーパー】を切り替える



注意：縮尺は複写元となります



Rebro

3Dのレイアウト空間で2Dオブジェクト移動させる②

ペーパ空間の活用

図形タブ→断面に展開コマンドで移動できます。

編集したい文字を選択し【断面に展開】コマンドで移動する



図形タブ-汎用図形-【断面に展開】



←ビュー専用で編集すると他レイアウトに表示されません



注意：縮尺は維持されます。

Rebro

END



Rebro